

・今後の課題と方向性

．今後の課題と方向性

1．社会実験を通じて抽出された課題と対応策

- ・各種調査結果や実行委員会委員の意見を踏まえ、社会実験により抽出された課題を整理すると共に、今後の対応策をまとめる。

企画・運営体制に関して

企画・運営体制の確立、更なる市民の参画・人材育成

- ・今回の社会実験イベント実施により、新たにリーダー格となる人材やプロデュースに長けた人材が発掘できたと共に、各種団体の連携強化や商店街の取り組み意欲につながり、大きな成果が上がった。
 - ・この成果を、今後の『敦賀港芸術村』の企画・運営組織の確立につなげていけるよう、今後も本実行委員会を発展的に継続し、様々な芸術分野の社会実験イベントを企画・運営して実績を積み重ねていくこととする。（第4回委員会で承認）
 - ・今後は、
 - 様々な芸術分野のイベントを実施することで、それぞれの分野に精通した人材を委員として登用していき、更なる人材の発掘を進めていく。
 - 合わせて、更なる市民・民間団体の参加・協力を得て、各種団体間の連携強化を図る。
 - また、企画段階から中学生・高校生・大学生など若者を積極的に参画させて、将来を担う人材の育成を図る。
- などの工夫を図り、『敦賀港芸術村』の企画・運営組織の確立を目指していく。

運営資金の確保

- ・今後、市民主導により『敦賀港芸術村』を企画・運営していくためには、運営資金の確保も課題として挙げられる。
- ・そのための方策としては、市民や企業からの寄付による『基金』を創設して、運営資金とすることが考えられる他、採算性を高める企画・仕組みを検討することも必要である。

企画・運営内容に関して

参加意欲が沸く、人が集まる企画の立案

- ・今回のイベントは概ね好評であったが、各種アンケート調査等において「駅前広場や商店街でのストリートパフォーマンスについて、来訪者の年齢層と音楽のジャンルが合わない」「音楽のジャンルを分けた会場設定をする必要がある」「皆が楽しめる、子供たちも楽しめる音楽を！」「もっと参加できる企画を！」などのご意見もあり、企画内容に一部課題が残った。
- ・今後は、
 - 市民が芸術に関心を持つきっかけとなるよう、一般向けの分かり易い内容の企画より多くの市民が参加・体験できる内容の企画
 - 敦賀市ゆかりの著名人の出演などにより、人を集められる内容の企画
 - 商店街においては、各商店街の宣伝を強調した商店街独自の企画
 - 様々な資源の活用・組み合わせによる企画などの企画立案を行い、これら様々な企画を組み合わせることで、より多くの人の関心や参加意欲を高め、集客力を向上させることとする。
- ・また継続的にイベントを実施することで、「街なかに行けば何かやっている」との意識を市民に植え付け、より多くの市民に中心市街地へ足を運んでもらうようにしていく。

開催時期・時間・場所（会場）の考慮

- ・今回のイベント当日は強風で寒かったことから、中心市街地を歩きまわる人が少なく、商店街の各会場でも長時間滞留する人が少なかった。また、イベント当日の土曜日は出勤日である企業が多く「土曜日は参加できない」との声や、3交代勤務の企業も多いことから騒音の苦情も数件あった。更にJR利用者からは「帰りの列車の時間が早いため、ゆっくり楽しめなかった」などの意見もあった。
- そのため、今後開催時期や時間、場所（会場）などについても考慮する必要がある。
- ・今後は、
 - 気候の良い時期での開催や、天候に左右されない会場の設定
 - より多くの人に参加してもらえよう、土曜・日曜の2日間の開催や他のイベントとの同時開催
 - その他、近隣への騒音などの対策、駐車場の確保、駅から港周辺までの移動手段の充実、JR列車の時間への配慮などについて考慮し、企画・運営を行うこととする。

適切な準備期間の確保

- ・今回は実行委員会設置から社会実験イベント開催までの時間が短く、十分な準備期間が確保できなかった。
- ・今後は適切な準備期間を確保して、企画を練りイベント実施に臨む必要がある。

広報・案内に関して

広報活動の強化

- ・今回のイベントでは、来訪者アンケート調査結果などから「宣伝不足である」とのご意見が非常に多くあり、今後は広報活動の強化が望まれる。
- ・今後の対応策としては、
 - イベント内容を的確に伝えるポスター・チラシの作成
 - 回覧板による市内PRの徹底（区長連合会との連携）
 - JRとのタイアップによる企画や、駅構内でのPRの充実などが挙げられ、更にお金をかけずにPRを徹底する方策の検討が必要である。
- ・また、駅や中心市街地内の主要な観光施設において、まちづくりの動向やイベント情報などを知ることができる情報案内板などを設置し、大きなイベントがなくても市民や来訪者に対して常に敦賀のまちの動きを発信して、「変わりつつある敦賀」への期待感を高め、敦賀へのリーピーターを増やすことにつなげていく。

イベント当日におけるイベントPRや会場案内の強化、観光周遊バスとの連携

- ・来訪者アンケート調査結果では、「イベントをしているのが分かりにくい」「会場が分かりにくかった」などのご意見があり、イベント当日におけるイベントPRや会場案内の強化が課題として挙げられる。
- また、「せっかくのイベントなのに観光周遊バスを走らせているため、人が中心市街地内を歩いていない」との指摘もあり、観光周遊バスとの連携も課題として残った。
- ・今後の対応策としては、
 - イベント当日の効果的なPR・案内方法の事前検討や、PRスタッフの事前打ち合わせ。
 - JR敦賀駅構内や敦賀市内の主要な観光地・施設でのイベントPRや、主要な観光地・施設からイベント会場までの案内看板の設置
 - 観光周遊バス乗降場でのイベントPRと、イベント会場までの案内看板の設置などが挙げられる。

商店街など中心市街地に関して ～中心市街地の集客力を高めるために～

個々の店舗の改革

- ・来訪者アンケート調査結果では、「悪い印象」としてシャッターが下りている店が多く賑わいに欠けている「商店街」が最も多く挙げられ、また不足しているものとしては「飲食店」の他、「覗いてみたくなる店」「開放的な店」などが挙げられており、商店街の集客力を高めていくためには、まずは個々の店舗を魅力的な店舗へと改革していく必要がある。
- ・特に、
 - 昼間の食事処や喫茶店などの店舗の誘致（空店舗の活用）
 - 購買意欲を湧かせる品揃えや入りやすい店構えなど、個々の店舗の改革などが必要である。

トイレ・休憩施設などの充実、分かりやすい案内サインの設置、美しいまち並み形成

- ・その他、来訪者アンケート調査結果では、中心市街地に不足しているものとして、「トイレ」・「休憩施設」・「分かりやすい案内サイン」などが挙げられている。
- ・そのため、今後これらの基本的な施設の整備・充実を図る必要があると共に、更なる中心市街地の魅力づくりのためには、美しい街並み形成や緑化推進なども求められる。
- ・今後商店街においては、個々の店舗前での緑化の推進やベンチなどの設置、気軽に店舗のトイレを利用してもらうなど、できることから来訪者をもてなす取り組みを始めしていく必要がある。

更なる商店街活性化に向けた取り組み意欲の向上、協力・連携体制の強化

- ・今回のイベント実施により、商店街活性化に向けた取り組み意欲の向上や各商店街の連携のきっかけとなり、大きな成果が上がった。
- ・この成果を活かし、今後も商店街独自のイベント実施など活性化に向けた取り組みを継続して行い、更に多くの商店主の意欲向上、商店街内の協力・連携体制の強化につなげていく必要がある。

2. 『敦賀港芸術村』実現に向けた今後のスケジュール

(*P86 参照)

- ・今回の社会実験イベントの成果や課題を踏まえ、今後も継続的に社会実験イベントを実施する予定である。
- ・今回の社会実験イベントは主に音楽を中心としたイベントであったが、今後は音楽だけでなく様々な芸術分野の社会実験イベントを実施していくと共に、既存の芸術分野のイベントについても本実行委員会が関わり、『港都敦賀芸術村物語』(社会実験イベント)の一環として一体的に実施していく。このことにより、市内外に『敦賀港芸術村』実現に向けた取り組みをアピールし、『敦賀港芸術村』への市民・来訪者の関心を高めて、更なる市民・来訪者の参加を促し、様々な芸術分野での人材の発掘、各種市民・民間団体の連携強化、市民の芸術活動の活性化、市民・来訪者の交流の促進等を図っていく。
そして、これらの社会実験イベントにより抽出された課題を1つ1つクリアしながら、更に効果の検証・課題の抽出を行っていく。
- ・平成 20 年度からは、まちづくり交付金を活用して、引き続き社会実験イベントを実施していくと共に、本実行委員会を発展させて『敦賀港芸術村構想策定委員会』を立ち上げ、社会実験イベント実施により抽出された課題を踏まえながら『敦賀港芸術村構想』を策定し、『敦賀港芸術村』における導入機能の確定、市民や市民・民間団体参画による運営主体の確立、敦賀港周辺に立地する既存施設の活用計画や必要施設・設備の整備・改修計画の策定等を行う。
- ・この『敦賀港芸術村構想』を基に、平成 22 年度から本格的に『敦賀港芸術村』を始動していく予定である。また、『敦賀港芸術村』運営に必要な施設・設備の整備・改修については、順次まちづくり交付金を活用し実施していく予定である。

『敦賀港芸術村』実現に向けたスケジュール(案)

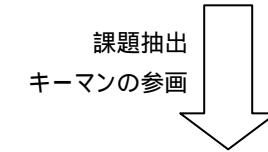
平成18・19年度

社会実験イベントの実施・継続

3.17	港都敦賀芸術村物語 第一章 それは、音楽ではじまる	【ジャンル】音楽・ダンス 【概要・ポイント】本物の芸術に触れる機会の提供、発表の機会の提供、新たな人材の発掘等 ・中心市街地全域をフィールド化。1日完結イベント。 【会場】市民文化センター、きらめきみなと館、駅前広場、各商店街
5.19～20	港都敦賀芸術村物語 第二章 つるがクラフトマーケット2007	【ジャンル】工芸 【概要・ポイント】クラフトマーケットの紹介・定着、創作活動拠点・交流拠点形成に向けた導入機能の模索、駅から港への案内方策・移動手段等の検討等 ・1箇所完結。土・日2日間開催。 【会場】金ヶ崎緑地
7.20～22	港都敦賀芸術村物語 第三章 つるがきらめきフェスティバル2007	【ジャンル】音楽・ダンスなどエンターテインメント 【概要・ポイント】既存イベント「敦賀サマーフェスティバル」との複合イベント：ダンス・音楽・イルミネーションのコンテスト等 ・敦賀港周辺エリアをフィールド化。金・土・日3日間開催。 【会場】金ヶ崎緑地、市民文化センター、きらめきみなと館、赤レンガ倉庫
7～12月	港都敦賀芸術村物語 第四章 自主制作映像コンクール in つるが	【ジャンル】映像 【概要・ポイント】映像(15分)の制作者の発掘、敦賀PR映像の充実、フィルムコミッション事業への展望等 【会場】きらめきみなと館
9.2～4	港都敦賀芸術村物語 第五章 敦賀まつり	【ジャンル】伝統芸能 【概要・ポイント】既存イベント「敦賀まつり」との複合イベント ・伝統芸能演者の発掘等 【会場】気比神宮、国道8号、神楽通り、相生通り
9.22	港都敦賀芸術村物語 第六章 「奥の細道」つるが芭蕉紀行俳句大会	【ジャンル】俳句 【概要・ポイント】既存イベント「つるが芭蕉紀行」との複合イベント ・俳句作家の発掘、歴史・史実の再認識等 【会場】プラザ萬象、気比神宮、西福寺
11.3	港都敦賀芸術村物語 第七章 敦賀市民文化祭	【ジャンル】絵画・写真・伝統芸能(能楽・茶道・華道等)他 【概要・ポイント】既存イベント「市民文化祭」との複合イベント ・市民の芸術・文化活動の活性化等 【会場】プラザ萬象
12月	港都敦賀芸術村物語 第八章 イルミネーションコンテスト	【ジャンル】イルミネーション 【概要・ポイント】市民・企業等参加の自主制作イルミネーション、イルミネーションマップの作成等 【会場】中心市街地全域

平成20年度

社会実験イベントの継続(まちづくり交付金の活用)



『敦賀港芸術村構想』の策定

(まちづくり交付金の活用)

- ・『敦賀港芸術村構想社会実験イベント実行委員会』から『敦賀港芸術村構想策定委員会』に発展
- ・課題整理～基本概念・方針策定
～機能確定、運営主体確立
～既存施設の活用計画策定、必要施設・設備の整備・改修計画策定等

*まちづくり交付金

【地区名】港都敦賀賑わい交流地区

【事業期間】平成20年度～24年度

・現在、「JR敦賀駅周辺、敦賀港周辺、中心市街地を含む「港都敦賀賑わい交流地区」の賑わい再生(特に、「JR敦賀駅周辺と敦賀港周辺における魅力ある賑わい交流拠点整備)を目標とした都市再生整備計画(案)を作成中

・平成19年度:採択要望

平成22年度～

『敦賀港芸術村』始動

- 創作活動の拠点
(工房、アトリエ、スタジオ等)
- 発表・交流の拠点
(創作活動の公開・体験・参加等)
- 敦賀ブランド創出・販売の場
など

既存施設・設備の改修など
(まちづくり交付金の活用)